

選手直前インタビュー
俺の出番だ!!



伊藤 裕貴

(三重/100期)

1月ぐらいから重たい負荷をかけてウエイトをやってる。優勝もできてるし成果は出てるかな。今回はいつも泗水杯を引っ張ってくれてる浅井(康太)さんや(柴崎)淳さんがいない。誰かが決勝に乗らないと格好つかないし、負けられない気持ちです。

廣田 敦士

(三重/107期)

今年の初めごろは、気持ちが悪く乗り切れない部分があって良くなかったですね。でも、(4月)佐世保で決勝に上がったのをきっかけに、ちょっとずつ良い方に向かっているなっていう感じはしています。なので、地元もこの流れのまま走りたいですね。いつも通り練習して、中部の先輩の前で頑張りたいです。



伊勢崎 彰大 (千葉/81期)

ダービーの一次予選では奇襲のまくりでS級通算300勝を飾った。例年どおり気温の上昇とともに成績も上向いている。目標不在のレースでもまくり兼備のタテ脚は軽視できない。



谷口 遼平 (三重/103期)

5月岸和田では古性優、山崎賢らを破ってS級2度目の優勝を決めた。勝ち上がりは積極的に動いて、決勝では上がり11秒フラットでまくり追い込みと地元G3を前に状態は上がっている。



小森 貴大 (福井/111期)

3月にS級特進を決めたばかり。今シリーズの注目選手のひとりだ。先行主体の組み立てでS級でも活躍し、5月奈良では外国勢の優勝争いに割って入った。2度目のG3で上位進出に期待だ。



GIRL'S KEIRIN (L級3R4日制)

梅川風子もフレッシュクイーンを含め今年V7。タイミングを逃さぬ仕掛けがハマれば一発ある。小林莉子、尾崎睦、大久保花梨も連候補から外せない。

一方の石井も今年は6連覇を含む9Vと充実一途。レースの流れに俊敏に反応していく自在戦で今度は児玉に迫りたい。

梅川風子もフレッシュクイーンを含め今年V7。タイミングを逃さぬ仕掛けがハマれば一発ある。小林莉子、尾崎睦、大久保花梨も連候補から外せない。

豪華メンバーを集めて行われる4日制シリーズ。決勝には特別レース並みの強豪が勝ち上がってきたそうだが、それでも児玉碧衣の実力が頭一つ抜けている。3月大垣でのコレクションで小林優に敗れて闘志に火が付いた児玉は以後負けていない。5月松戸のコレクションもライバル石井寛子らに完勝。ここもまくり構築、積極的に自分からレースを動かして勝ち切る。

児玉碧衣が勝ち切る



児玉 碧衣